

[成果情報名]長崎県オリジナル夏秋小ギク「長崎 SWC1」「長崎 SYC1」「長崎 SRC2」の9月彼岸需要期出荷作型における安定生産技術の確立

[要約]施設電照栽培において夏秋小ギク「長崎 SWC1」「長崎 SYC1」「長崎 SRC2」は7月中旬に消灯すると9月彼岸需要期に出荷できる。

[キーワード]電照栽培、夏秋小ギク、オリジナル

[担当]長崎県農林技術開発センター・農産園芸研究部門・花き・生物工学研究室

[連絡先](代表) 0957-26-3330

[区分]花き

[分類]普及

[作成年度]2021年度

[背景・ねらい]

暖地における施設花き栽培は冬春出荷が主であり、夏季の補完品目の導入による経営の安定化が望まれている。小ギクは栽培期間が比較的短く、市場において安定的な需要があるため、補完品目として期待が寄せられている。

しかし、夏秋期の小ギクの開花は高温などの気象変動の影響を受けやすく、計画出荷が困難である。そこで、本センターでは電照栽培により開花調節が可能な夏秋小ギクを3品種育成したところである。これら3品種について9月彼岸作型における安定生産技術の確立を目指す。

[成果の内容・特徴]

1. 電照期間にかかわらずフラワーフォーメーションは1であり、出荷調整しやすい草姿である(表1)。
2. 到花日数は、3品種ともほぼ同じであり同時期に出荷できる(表2、表3)。
3. 諫早市の現地実証圃において、7月15日消灯で予約相対取引期間(9月8日～20日)である9月彼岸高需要期に収穫できる(表3)

[成果の活用面・留意点]

1. 出荷規格80cmの産地においては、消灯時草丈は45cm以上必要であるため、定植時期を早める。
2. 長崎花市場の平均単価(H28～R3)は8月下旬が29.7円/本、9月上旬が37.3円/本である。高需要期である9月中旬が40.7円であり、電照栽培により9月中旬に出荷することで、8月下旬出荷と比較して販売単価が11円/本増加する。

[耕種概要]

定植日: 2021年5月26日

摘心日: 2021年6月7日

整枝: 2021年6月22日 3本/株

消灯日: 2021年7月15日、7月20日、7月25日

定植直後から消灯日までは蛍光球にて5時間の暗期中断(22:00～3:00)

[具体的データ]

表1 施設9月彼岸作型小ギクにおける消灯日の違いによる切り花品質

系統名 (色)	消灯日 (月/日)	消灯時		切り花品質					
		草丈 (cm)	節数 (節)	切り花長 (cm)	節数 (節)	75cm重 (g)	有効枝数 (本)	花数 (個)	FF ^{z)}
SWC1 (白)	7月15日	32.0b ^{y)}	18.1b	70.9c	48.1c	ND	12.5c	15.1b	1.0
	7月20日	40.6a	22.9a	80.0a	54.8b	46.0	14.8b	17.4a	1.0
	7月25日	41.8a	24.6a	76.6b	57.0a	42.4	16.1a	17.8a	1.0
SYC1 (黄)	7月15日	31.7c	17.3c	70.8b	49.0c	ND	13.1b	15.5b	1.0
	7月20日	39.8b	21.6b	79.4a	53.3b	49.2	15.3a	17.8a	1.0
	7月25日	43.1a	24.3a	77.6a	56.7a	42.3	16.4a	17.7a	1.0
SRC2 (赤)	7月15日	35.6c	19.6c	75.0c	50.7c	ND	12.7b	17.3ab	1.0
	7月20日	40.4b	22.5b	78.7b	54.3b	46.6	14.5a	16.2b	1.0
	7月25日	45.0a	26.0a	82.2a	57.0a	44.7	15.5a	19.6a	1.0

z) FF (フラワーフォーメーション) : 図1により分類した花房型の平均値

y) 品種ごとに異なる英文字間にはTukeyの多重検定により5%水準で有意差あり (n=20)

表2 消灯日の違いによる発蕾日、収穫日および到花日数

系統名 (色)	消灯日 (月/日)	発蕾日 ^{z)} (月/日)	収穫日 (月/日)	到花日数 (日)
SWC1 (白)	7月15日	8月9日	9月14日	61
	7月20日	8月11日	9月15日	57
	7月25日	8月15日	9月17日	54
SYC1 (黄)	7月15日	8月9日	9月14日	61
	7月20日	8月11日	9月15日	57
	7月25日	8月15日	9月17日	54
SRC2 (赤)	7月15日	8月8日	9月13日	60
	7月20日	8月11日	9月15日	57
	7月25日	8月15日	9月16日	53

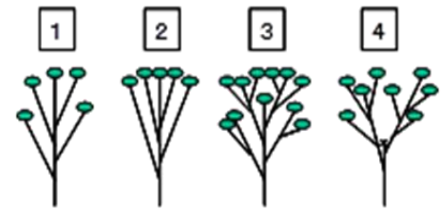


図1 : FF (フラワーフォーメーション)

z) 肉眼による発蕾を調査対象茎 (60茎) の過半数で確認した日

表3 現地実証圃の切り花品質および発蕾日、収穫日、到花日数 (諫早市)

系統名 (色)	消灯日 (月/日)	消灯時		切り花品質				FF	80cm重 (g)	発蕾日 (月/日)	収穫日 (月/日)	到花日数 (日)
		草丈 (cm)	節数 (節)	切花長 (cm)	節数 (節)	有効枝数 (本)	花数 (個)					
SWC1 (白)		57.3	27.1	98.1	55.6	12.2	13.3	1.0	55.5	8月3日	9月10日	57
SYC1 (黄)	7月15日	55.8	26.4	98.3	54.0	11.3	12.3	1.0	51.5	8月3日	9月9日	56
SRC2 (赤)		53.5	26.0	100.9	55.9	13.3	15.6	1.0	52.2	8月2日	9月8日	55

直挿し日 : 5月20日、摘心日 : 6月3日、整枝 : 6月25日 2本/株仕立て

[その他]

研究課題名 : 夏秋小ギク電照栽培技術実証 ジャパンフラワー強化プロジェクト推進

予算区分 : 国庫

研究期間 : 2021年度

研究担当者 : 鍵野優子